4がつのえんだより

あおぞら保育園　平成25年4月号

先日は、入園式へのご参加ありがとうございました。

待ちに待ったあおぞら保育園のスタートを切ることができ、職員一同、喜びで胸いっぱいです。これも保護者の皆様のご協力ご理解と前東保育園の先生方の御協力のおかげと深く感謝もうしあげます。ありがとうございました。

入園、進級から1週間がたち、緊張していた子どもたちも少しずつほぐれ、自分の気持ちや個性を表現してくれるようになり、うれしいかぎりです

まだまだこれからですが、「丈夫なからだと豊かな心を育てる」ことを大きな柱とし、ひとりひとりに寄り添い大切にしながら、・個性豊かな子ども・情緒豊かな子ども・思いやりのある子ども・何事にも挑戦出来る子ども・主体性　自主性のある子ども・自分の意思をはっきり伝えられる子ども・あいさつができる子どもを育てていくことを目標に、成長・発達を保護者の皆様と共に喜びあいながら、保育に取り組んでまいりたいと思います。

4月の予定

1(月)	入園式
15～19	身体測定
16(火)	歯科検診
17(水)	避難訓練
18(木)	職員会議
23(火)	体育指導
25(木)	心理研修
25(木)	ぎょう虫検査提出日
26(金)	誕生会
30(火)	こいのぼり飾り

5月の予定

2(木)	子どもの日会
11(土)	親子レクレーション ひよこ・うさぎ自由参加
15(水)	1年生を迎える会
16(木)	つき組　調理保育
20～24	身体測定
20～24	職場体験(羽村2中)
24(金)	誕生会

クラスより

ひよこ組

男子7名・女子3名　計10名のお友達を迎えてのスタートから1週間がたちました。大好きなおかあさん、おとうさんと離れて、戸惑ったり、とっても悲しくて泣いて訴えていましたが、少しずつ「ほいくえん、たのしいな」と笑顔が見られるようになりました。

うさぎ組

あおぞら保育園　うさぎ組のスタート。新しいお友達も2人増え、12名中男の子がなんと9名!!　元気モリモリ、楽しいことがたくさんありそうです。

新しい帽子に目をキラキラさせている子どもたちには、なんにでも挑戦したい気持ちで一杯の様子です。そんな「やる気」をバックアップしていきますので、どうぞ1年間よろしくお願いいたします。

ことり組

進級児11名に加え、新しい7名のお友達が入りことり組は、18名のスタートです。

どんなクラスになるか、毎日どんなことをして楽しもうかとはりきっている担任たちです。3歳児といえば、おしゃべりも遊びもなんにでも興味津々で一生懸命のお年頃。そんなお子さんたちのワクワク　ドキドキをしっかり受け止め笑顔いっぱいで過ごせる様に、一生懸命さNo.1のリフレッシュマン　佐藤保育士と、子育て真最中のママさん小坂保育士 & 中野が全身で日々保育していきますので、どうぞよろしくお願いします。

はな組

3月末より2階はな組のお部屋で生活がはじまり、1人での身支度にも少しずつ慣れてきた様子の子どもたち。4月から新しいお友達1名をむかえ、16名の生活がスタートしました。お子さんが安心して楽しく生活できるようひとりひとりとじっくりかかわりながら保育していきます。1年間よろしくお願いします。

つき組

新しい2名のお友達が入り、男子7名　女子11名のスタートです。年長児となった自覚からか、顔つきもちょっと大人びたような…とはいっても、まだまだ甘えたいところは、しっかり受け止めていきたいと思っています。つき組として新しい活動も増えてきます。体育指導での活動の練習をすると、「先生見て上手でしょ」と目をキラキラさせて声をかけてきます。給食の配膳も自分たちで食べられる量をよそっているので、食欲旺盛、おかわりもしてもりもり食べています。

いろいろな事に挑戦し体験を通し「保育園楽しい、保育園に行きたい」といってくれるようなつき組にしていきたいと思います。1年間よろしくお願いします。

ことり組さんの保護者の皆様へ
月曜日の雨天時は、担任が支度を行いますので荷物を保育士に預けてください(駐車場混雑緩和のため)。

1・2・3歳は強情っぱり!?

1歳を過ぎると始まる「イヤ!」「イヤ!」の連発。その上、2歳ごろから自分の思い通りにならないと泣きわめき、「んもう、いいかげんにして!!」と言いたいママは多いはず。これってどうすればいいんでしょう?

子どもが納得しやすい言葉の例

1歳半から3歳ごろの子どもは、「○○しなさい!」という命令口調が大の苦手。子どもの思いを大切にしながら自分の思いも伝えましょう。

気持ちに共感する
○○したかったのね。

思いを伝える
お母さんは○○がしたいの。

物の気持ちを伝える
クマさんは○○だって。

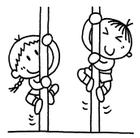
選ばせる
○と○とどっちにする?

尊重する
○○をお願いね。

理由を伝える
○○だから○○しようね。

見通しをもたせる
○○したら○○しようね。

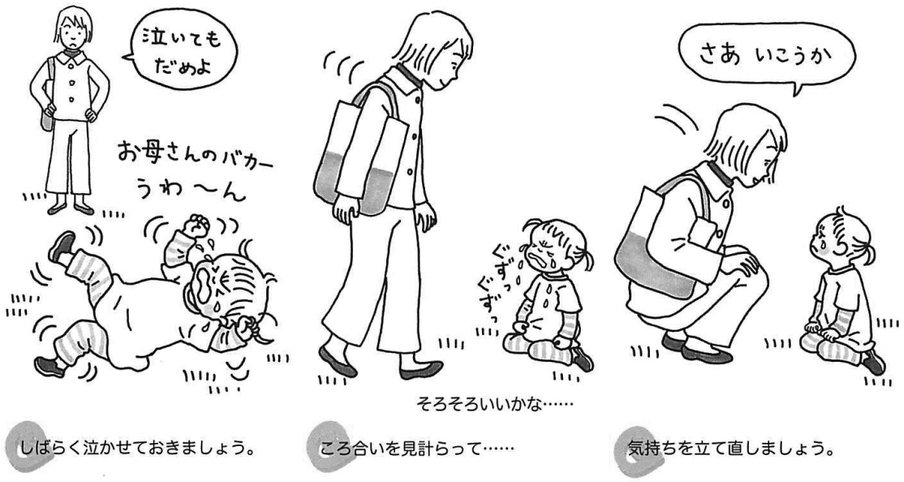
「子育て支援
ひだまり通信」
高山静子著
チャイルド本社より



どんな子だって1歳～3歳ごろは強情っぱりであたりまえ。歩く前にはハイハイや尻もちをするように、強情、イヤイヤは子どもが自分をつくるためにどうしても通らなくてはならない道なのです。
やがて、言葉での表現力、見通しをもつ力、状況の理解力などが育ってくると、強情っぱりは自然に消滅していきます。

大泣き・ひっくり返りが始まったら……

もうしかたない……しばらく泣かせて、ころ合いを見計らって「もう、おしまい」とか「さあいこうか」と気持ちの立て直しを図るしかないでしょう……。ふー。母は強くなるはずです。



しばらく泣かせておきましょう。　ころ合いを見計らって……　気持ちを立て直しましょう。